

藤枝市行政施策要望

1. 業務効率化と成長支援について

燃料費を始め、原材料費、人件費の高騰が続く一方、適正な価格転嫁も困難な中、経費削減や業務改善などの経営改善に取り組んでいますが、中小企業、小規模事業者は大変厳しい経営状況となっております。今後、金利上昇が続き、人口減少による消費の縮小などが懸念されるため、生産性向上等に向け次のことを要望します。

(1) 運転資金等の借入利子の事業者負担の軽減

藤枝市では県との協調などによる借入利子への補給金制度を実施していますが、今の金利上昇傾向が続くと思われることから、小規模事業者経営改善資金運転資金利子補給金制度や設備投資資金利子補給金制度などの制度融資における利子補給率の引き上げをお願いします。

(2) 中小企業・小規模事業者のデジタル化支援の推進

昨年度から実施している大変好評なデジタル経営診断(昨年度250社)と、診断後の藤枝ICTコンソーシアムによる課題解決に向けた伴走支援の更なる推進をお願いするとともに、引き続き藤枝未来DXスクールにおける個別相談、支援によるデジタル人材の育成支援をお願いします。

また、産業分野でも活用が進むAIについても、事業者の効率化と高度化に向け藤枝ICTコンソーシアムとともに啓発や活用支援をお願いします。

(3) 行政手続きの完全オンライン化と申請書類の簡素化

藤枝市では令和4年度から段階的に手続きのオンライン化を進めてられておりますが、事業者の省力化と手続きの迅速化に向け、各種申請から報告、請求、支払いまでの完全なデジタル化を推進するとともに、必要添付書類の見直しをお願いします。

(4) ふるさと納税事業の協力事業者拡大と産業振興施策の充実

大きなマーケットとなったふるさと納税市場への販路拡大、新商品開発等に向けて、市内事業者に対し、制度やメリット等の丁寧な説明と周知に取り組むとともに、指定寄附金を積極的に活用して、産業振興を図るようお願いします。

また、本年度創設された、「ふるさと産品創出支援事業費補助金(ふるさと納税3.0補助金)」を拡充し、事業者の新商品開発や生産力向上が進むようお願いします。

(5) 米国関税措置の影響に対する迅速な対応

今後の影響が不透明ではありますが、市内企業の情勢や国・県の動向に注視し、その支援策に時宜を逸することのないよう機動的な対応をお願いします。

2. 安心して働き続けるための環境整備の拡充と一体的な雇用対策について

地域産業の持続可能な成長を図るためには、人材を確保し、育成して定着を図ることが何より重要であります。藤枝市では就職ガイダンスや資格取得支援、職場環境整備支援、更には「働きやすい職場環境認定事業所制度」など、ハローワークとも連携し労働環境改善と雇用対策を一体的に推進されています。

従業員の資質向上や労働環境の向上のための投資は、従業員のウェルビーイングの向上につながることから、特に若者や女性の確保に向けて次のことを要望します。

(1) 市内企業の認知度向上

市内企業の人材確保のため、「働きやすい職場環境認定企業」と「健康経営優良認定法人」の認定や、地元就職応援プロジェクト「カモンワカモン」の登録拡大の取り組みをお願いするとともに、企業名とともに具体の取組を掲載するなど、雇用対策として一元化した情報発信をお願いします。

また、地元就職応援プロジェクト「カモンワカモン」によるUターン就職サイトを拡充して市内就職応援サイトとして再構築し、移住や転職希望者のIターン、Jターン就職のための情報提供をお願いします。

(2) 若者確保に向けた財政支援

地元就職応援プロジェクト「カモンワカモン」における地元就職奨励金を継続して給付するとともに、就職後の生活に大きく負担となっている奨学金に返済について、国・県と連動した奨学金返還支援制度の協調助成を実施するようお願いします。

(3) 従業員の資質向上支援の創設

従業員の資格取得支援補助に加え、省力化や生産性向上などの業務で必要なスキルや知見を習得するリスクリング教育の充実とともに、リスクリング研修の費用に対する補助金を創設するようお願いします。

(4) 子育て・介護の両立支援の充実

従業員が安心して育児や介護休暇を取得し、働き続けられるよう、現在の「仕事と介護の両立支援奨励金」の回数または金額の見直しをお願いします。

(5) 小中学校でのキャリア教育の充実

小中学校の段階から発達に応じてキャリア形成を図るため、キャリア教育の授業に国家資格キャリアコンサルタント等の専門家を派遣し、商工会議所などの支援機関や地元企業と連携した授業の企画運営や、教職員・保護者の個別相談の支援体制を構築するようお願いします。

(6) 地元就職の推進に向けた高大連携の推進

小中学校でのキャリア形成から切れ目なく職業観を育むとともに、広く市内の企業を知り、地元での活躍の意識醸成を図るため、市内の高校や包括連携を結ぶ県内大学との連携を進め、地元企業との連携やインターンシップのモデル化などの推進をお願いします。

3. スポーツを通じた地域活性化について

スポーツ大会への参加や試合観戦、合宿、スポーツ体験など、単にスポーツだけを楽しむだけでなく、地域の文化や自然、グルメといった多面的な経験などを楽しむ環境を創出することで市内での滞在時間と消費額の増加につながるよう次のことを要望します。

(1) 民間企業の参画促進による稼ぐ観光

「蹴球都市Next100スポーツツーリズムプロジェクト」への民間企業の参加を促進し、サッカー観戦による人の流れと新たな唯一無二の”モノ”とのかけ合わせにより地域経済の活性化が図れるようお願いします。

(2) スポーツ施設の充実

各種のインドア、アウトドア競技の全国大会や合宿の誘致を図るため、また、多くの人が安全・安心してスポーツに親しめる環境を提供するために、総合運動公園を始め、市民体育館や市民グラウンドなどのスポーツ施設の整備、改修や設備の更新をお願いします。

4. 「藤枝HALEバレー構想」の実現に向けて

専門機関や学識者、知見を有した大手企業と、スタートアップや市内中小企業・小規模事業者など多様な主体を巻き込んだ藤枝発のプロジェクトの実現を積み上げることで、将来の持続可能でウェルビーイングなまちづくり、地域産業の成長と発展に向けた「食と農」「健康・医療」を活かした新たな「健康生活産業」の創出につながるよう次のことを要望いたします。

(1) 市内事業者の取組機運の醸成

新たな「健康生活産業」創出の実現に向けて市内事業者や各金融機関などが共通認識のもと、一丸となって取り組んでいくために、構想内容や具体の取組、参入方法などについて、関係団体との定期的な情報交換の場づくりとともに、説明会や研修会、個別相談の開催など、市内事業者に丁寧な説明をおこなうようお願いします。また、事業参入を検討する事業者について、商品開発やビジネスモデル確立等の支援やコーディネートを行う支援機能の確立も併せてお願いします。

(2) スタートアップ等と市内事業者の交流づくりやマッチングの充実

未来共創ラボ・フジキチや民間シェアオフィスでは様々なイベントやセミナーなどを開催していますが、新たな商品開発やサービス創出に向けて、国・県との連携や地域活性化起業人制度を活用したイベント交流、マッチングの仕掛け、仕組みづくりをお願いします。

(3) スタートアップなどへの伴走支援体制の構築

ふじえだイノベーションスタジアムや志太ビジネスグランプリにおける新産業の創造や地域課題解決につながる新商品やサービス開発の実装に向けて、資金調達、各種補助金制度などの相談、助言など、行政と金融機関、商工会議所などの支援機関と連携した伴走支援体制の確立をお願いします。

5. 新たな商業振興戦略について

中心市街地や旧市街地をはじめ、市内に商業エリアと商店街が存在していますが、集客力に陰りがみえるとともに、各商店の後継者不足や商店主の高齢化などにより、商店街組織や各個店の事業継続が非常に困難な状況となっております。こうした状況を打破し、賑わいを取り戻すため、藤枝市全体の商業振興戦略の確立とともに次のことを要望します。

(1) 新たなコミュニティの構築と環境整備

従来の日常生活に密着した職住一致の商店街から各商業エリアで地元組織や事業者・商店主有志、企業、新規出店者などの参画による新たなコミュニティへの転換を進めるとともに、老若男女が昼夜いつでも安全で快適にまち歩きができる環境整備をお願いします。

(2) エリアマネジメントによる空き店舗、空き家活用の推進

全体の商業振興戦略のもと、中心市街地、旧市街地、藤岡地区、岡部町岡部地区などの空き店舗、空き家の活用推進のため、多業種の店舗の出店が可能となるような補助制度の創設をお願いするとともに、所有者への制度活用の周知を併せてお願いします。

6. 中心市街地の活性化について

志太榛原の地域経済を牽引する拠点として、多様な都市機能の集積とビジネス拠点の有機的な連携に取り組み、まちなか居住を推進するとともに、魅力ある商業施設や個店、居心地の良い環境整備による賑わいが広がるよう次のことを要望します。

(1) 着実な再開発事業の支援

駅前一丁目9街区の市街地再開発事業について、計画通り着実に進捗するよう支援していただくとともに、駅前一丁目6街区における事業計画の見直しおよび事業執行が円滑に進められるよう支援をお願いします。また、新たな再開発を検討する地区につきましても、将来的な事業化に向けて立ち上げの支援をお願いします。

(2) 中心市街地の商業機能の再生・強化

志太地域の玄関口でもあるJR藤枝駅を中心とした中心市街地に市内外から多くの人を呼び込むため、市内唯一の商業機能を有する複合施設である「BiVi藤枝」を魅力あるテナント誘致により再構築し、周辺地域にも経済波及のある大幅リニューアルを事業者と一体で行うようお願いします。

(3) 駅前2丁目旧市有地の新たな公的空間の有効活用

令和8年1月、市営駐車場を維持しつつ開店する金融機関の2階の地域解放フロアについては、中心市街地の新たな賑わいや、藤枝市の商業振興に寄与するような活用方法の協議・調整をお願いします。

7. 旧市街地の分散型まちづくりの推進について

持続可能な文化交流・生活拠点に向け、アジア・カンフー・ジェネレーションの後藤正文氏による音楽スタジオや大慶寺の宿坊のオープン、空き店舗への新たな出店計画など、再生に向けた街づくりへの変化が現れつつあります。地域内での滞在時間が長くなるよう、誘客機能のある蓮華寺池公園から周辺を含めて整備をしている岡出山公園までの遊休地や空き店舗等の活用による回遊性の向上を要望します。

8. 北部地域の賑わいづくりについて

豊かな自然に恵まれたこの地域では、各エリアの独自の地域資源を観光資源として最大限に活用して、多くの人を呼び込み、そして地域間連携による地域の回遊性を向上させることなどにより、域内経済の好循環を生み出すことで周辺地域全体の発展となるよう次のことを要望します。

(1) 瀬戸谷地域の活性化

陶芸村拠点3施設と他の公共施設をはじめ、民間施設などとの施設間連携や東京藝術大学をはじめとする産学官の連携などにより、陶芸を核とした誘客促進に向けた新たな魅力づくりをお願いします。

(2) 朝比奈地域の活性化

地域内の自然や歴史・伝統文化などの資源に磨きをかけ、エリア拠点整備と朝比奈ブランドの強化を図るとともに、移動手段や駐車場の整備を図り、地域住民と一体となったローカルツーリズムの推進をお願いします。

(3) 仮宿地区の活性化

広域インフラによる交通利便性が優れ、優良な農地が広がる「食と農のアンテナエリア」へのゲートウェイとする(仮称)仮宿道の駅には、地域で収穫された地元農産物や6次産業化商品など、他の道の駅との差別化を図った地域ブランド品を紹介、提供、発信できるような地域振興施設の整備をお願いします。

9. 土地利用の弾力化と企業誘致について

国の土地利用の転換に関する制度の弾力的な運用や必要な見直しによる各種取り組みを活用するなど、地域の持続性確保につながる産業用地の確保と企業誘致に努め、地域の成長発展の基盤となるよう次のことを要望します。

(1) 岡部町内谷地区工業用地整備

県企業局と造成事業の協定を締結した約5.3haの工業用地について、県との協議に基づき、重点的に整備を進めるとともに、藤枝市全体の産業振興につながるような進出企業の選出をお願いします。

(2) 新たな産業用地の確保

新たな企業の本市への進出意向や市内企業の事業規模拡大について、時機を逸することなく確実に実現できるよう、現在進める重点的な土地利用計画や、市街化調整区域の土地利用の弾力化を着実に進めるようお願いします。

(3) 事業用地拡大に係る関係各課の支援強化

事業規模の拡大に伴い、隣接、近隣青地農地の土地利用について、関係各課において事業者寄り添い、関係法令や手続きなどへの相談や農地除外や農地転用、開発行為許可などの手法の検討や助言をお願いします。

10. 安全安心で持続可能な企業活動に向けて

地震による店舗や工場等の倒壊や焼失、ゲリラ豪雨による店舗や事務所等の浸水や流出などから逃れ、企業活動が安心して続けられ、また、災害から早期に復旧、復興し、企業活動が再開できるよう次のことを要望します。

(1) 災害からの早期復旧

境界の位置が座標で管理され、復旧が円滑におこなえることから、旧市街地をはじめとする人口集中地域の地籍調査を重点的に取り組むとともに、電柱倒壊による道路寸断、電気や通信網の寸断を未然に防ぐため、無電柱化を県と連携して計画的に進めるようお願いします。

(2) 道路冠水と浸水対策の強化

物流や配達、買い物等の影響により企業活動に甚大な被害を及ぼすことから、ゲリラ豪雨による道路の冠水(築地、小石川、水上の各地区)の解消と浸水被害(時ヶ谷、五十海、藤岡)の軽減に向けた対策をお願いします。

(3) 幹線道路の整備推進と渋滞緩和について

企業活動の維持発展には人やモノの流れを円滑化する幹線道路の整備促進は重要であり、特に物流面、観光面で大変期待されております。慢性的な渋滞が解消されることにより生産性向上や従業員の働き方改革、企業の健康経営にもつながることが期待されています。物流事業所や周辺の工業団地への進出企業をはじめ、多くの事業者が望んでおり、地域経済の活性化につなげるために、引きつづき、整備促進の予算確保等に向け次のことを要望します。

- ・国道1号藤枝バイパスの4車線化の推進に向けた国への働きかけ
 - ・仮宿高田地区の都市計画道路(天王町仮宿線、仮宿高田下付田線)の整備推進
 - ・志太中央幹線の着実な整備に向けた藤枝市及び県の予算確保
 - ・小川島田幹線の早期事業化に向けた県との前向きな協議
 - ・渋滞箇所の緩和
- (県道：藤枝大井川線、善左衛門停車場線、上青島焼津線、葉梨高洲線、市道小川青島線)

11. 藤枝商工会議所創立60周年記念事業への財政支援について

藤枝商工会議所が昭和41年11月に発し、創立60周年を迎えることから、これまで藤枝商工会議所を支えていただいた多くの方々への感謝と更なる地域の発展と会員企業の成長を想って実施する記念事業への補助をお願いします。